
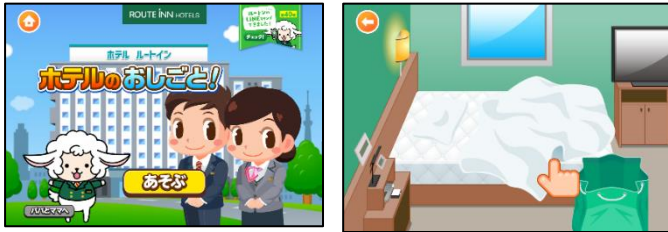



1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	西備支援学校	指導者名	蜂谷 晃平
実践場面 (教科名)	生活単元学習 (生活)	単元・題材名	将来の夢を考えよう
学習目標・ねらい	様々な職種について知り、自分がやりたいことを見つけることができる。		
対象児童生徒の実態	知的障害部門 小学部 6年		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad の基本的な操作には慣れている。 ・ 選択肢の中から好きなもの、興味のあるものを選ぶことができる。 ・ 将来に対するイメージはもちにくく、「夢＝やりたい仕事」として授業で扱っている。 		
活用の概要			
<p>①お仕事クイズ 動画（厚生労働省「職業情報提供サイト（日本版 O-NET）jobtag」）を見て、どの仕事についての動画が答える。</p> <p>②夢を考える アプリ「ごっこランド」を使用し、自分が興味のある仕事を体験する。 実在する企業が提供するゲームを通じて、仕事内容の概要を知ることができる。</p>			
		<p>児童になじみのある企業も多数。興味のある企業のページをタップし、ゲーム感覚で仕事を体験することができる。</p>	
		<p>画面内の操作で仕事内容を模擬体験することができる。 自分が気になる仕事を体験して、楽しかったものを選ぶ。</p>	
<p>③夢を発表する 「私の夢は〇〇になることです」と発表し、掲示する。</p>			
		<p>夢に向けて児童には自分の力を伸ばしてほしい。掲示物を振り返りながら、児童・教師・保護者が目標を共有する。</p>	
成果や活用のポイント	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しみながら「働くこと」へのイメージをふくらませることができる。 ・ 授業外でもアプリを使用し、「働くこと」への興味関心を広めることができる。 ・ 実際の体験が難しい児童でも、アプリを通じて模擬体験することができる。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢や目標を具体的にイメージすることで、自己を肯定的に捉えたり、苦手なことにも前向きに取り組んでみようとする気持ちが生まれやすくなる。このことは児童生徒が日々の生活を前向きに生きるためにも必要であり、日常生活の質の向上につながる。一方で、アプリ内で行うことができるのはあくまでも模擬体験である点に留意する必要がある。 		